

「名古屋市新たな劇場の基本計画（案）」
に対する市民意見の内容及び市の考え方

2025年（令和7年）2月

名古屋市

「名古屋市新たな劇場の基本計画（案）」に対し、貴重なご意見をいただき、ありがとうございました。いただいたご意見の概要と、それに対する名古屋市の考え方を公表します。

なお、ご意見の内容につきましては、趣旨の類似するものはまとめさせていただいたほか、原文を一部要約し、また項目別に分割して掲載しておりますので、ご了承ください。

また、「名古屋市新たな劇場の基本計画」本編について、特段の記載がない限り、「計画本編」と表記しております。

1 市民意見の概要

（１）意見募集期間 令和６年１０月７日（月）から１１月５日（火）まで

（２）意見提出状況 意見提出者数：５３名 意見総数：２１５件

提出方法	郵便	ファックス	電子メール	持参	合計
提出者数	４名	２名	４５名	２名	５３
件数	９件	４件	１９９件	３件	２１５件

2 市民意見の内訳

項目	意見数
（１）新たな劇場の基本的な考え方について	２６件
（２）新たな劇場とまちづくりの関係について	２０件
（３）整備計画について	９８件
（４）管理運営計画について	２６件
（５）事業方式について	３５件
（６）その他	１０件
合 計	２１５件

(1) 新たな劇場整備の基本的な考え方について 26件

ア 新たな劇場の基本理念と基本方針について

(ア) 基本理念と基本方針

- ・市民と一緒に、市民のための新市民会館を作り、未来のための芸術文化の街を作り出す。そういう付加価値で全国にアピールできるのでないだろうか。
- ・市民が誇れる、地域に根付いた劇場としてほしい。
- ・出演することがステータスになるような劇場としてほしい。
- ・もっと振り切った、バランスが悪くても良いから、オンリーワンの劇場になってもらいたい。
- ・名古屋ならではの期待することなく、市民や行政がそれぞれ独自に、独自の味のある舞台や企画を産み出すことにこそ目を向けるべきではないだろうか。
- ・高級でなくても良いが、品があり、アート感がある劇場としてほしい。

【市の考え方】

ア 新たな劇場の基本理念と基本方針について

(ア) 基本理念と基本方針

- ・新たな劇場の目指す姿を「人々が楽しみ、引き込まれ、心打たれる、文化の薫り高い名古屋の心つながる象徴拠点」としており、出演者・鑑賞者だけでなく、市民にとって名古屋の誇りであり、文化芸術が活きるまち名古屋の中核施設として市内の文化振興をけん引してまいります。(計画本編 P3)
- ・基本方針の1つに「国内外から注目され、多くの市民の誇りと親しみを呼び起こすトップクラスの上演施設」を掲げ、高品質な劇場文化の鑑賞を通じて市民の文化芸術への関心を高めるため、国内外のトップレベルのクラシック演奏やバレエ公演等を招致可能な音響や舞台等の鑑賞環境を備えた劇場を目指してまいります。(計画本編 P3)
- ・文化芸術の普及・育成拠点として、充実したサポート体制を構築することで、名古屋の文化力を底上げする劇場を目指しています。(計画本編 P3)
- ・いただいたご意見も踏まえながら、詳細については新たな劇場に関する要求水準書(案)の作成にむけ関係各所との調整、検討を進めてまいります。

(イ) 他の文化施設との有機的連携

- ・市内文化施設の中核に位置付けるのであれば、中規模施設、文化小劇場と有機的連携は大変重要なことなのでしっかり取り組んでほしい。
- ・有機的連携は、連携と言うよりはピラミッド型の格差、ランク付けとも見られるが、千種文小、熱田文小、北文小などの施設は市民会館も含めて格差、階層というよりは、それぞれの個性のもと存在している。

【市の考え方】

(イ) 他の文化施設との有機的連携

- ・新たな劇場を中心とした文化施設間の有機的な連携により、文化芸術に対する市民の興味・関心の拡大、及び文化団体等の多様な文化芸術活動の促進を図ってまいります。(計画本編 P4)
- ・有機的連携のイメージ図は、施設をランク付けしたものではなく、文化芸術の裾野拡大を目指す際の各施設の規模や役割による位置づけやつながり方のイメージを表しています。

イ 新たな劇場の方向性について

(ア) 新たに導入が必要な機能及び方針

- ・「創造発信型施設」を目差すと書かれていますが、その具体的な記述がありません。創造発信型施設とは名前だけでなく、そのための設備（施設）、資金、組織（独立した）が必要です。
- ・建てたらおしまいではなく継続的に芸術文化を発信でき交流出来る場所になってほしい。もっと具体的な計画を示してほしい。
- ・少子高齢化の日本の現状に対し子ども育成の重要課題に対応する場、市民が気軽に文化芸術に触れることができる施設、そこから心豊かな市民生活へとつながることが期待できる施設を要望します。
- ・演者もお客様もスタッフも、建物と内装や設備ふくめて、使いやすく居心地のよい空間をつくってください。劇場の細部にこそお金をかけてください。

【市の考え方】

イ 新たな劇場の方向性について

(ア) 新たに導入が必要な機能及び方針

- ・新たな劇場は「文化芸術の創造、普及・育成、まちの拠点」として、機能強化により「アーティストに開く」「市民に開く」「まちに開く」劇場を目指しております。
- ・アーティストに開くための機能として、若手アーティスト等の制作支援やアーティストと市民、またはアーティスト同士の相互交流を促進するための機能を整備することを想定しています。（計画本編 P6、P7）
- ・新たな劇場は、市民が本物の舞台芸術に触れ、創造性や感性を高めることで、子どもたちの成長や次世代の文化芸術の担い手育成につながることを期待し、「市民に開く」劇場として市民が気軽に文化芸術に触れられる空間の創出を目指しています。（計画本編 P6、P7）
- ・いただいたご意見も踏まえながら、詳細については新たな劇場に関する要求水準書（案）の作成にむけ関係各所との調整、検討を進めてまいります。

(イ) 施設構成

- ・ホール客席数が 600 名程度のバレエ発表会に手ごろなホールも希望する。
- ・ホール客席数が 600 名程度のホールがあると嬉しい。
- ・閉鎖した三井住友海上しらかわホール（700 席）の使い勝手が良いとの意見が多く、第 3 ホールの座席数変更等により、その規模のホールを作っていただきたい。
- ・舞踊には第 2 ホールの 1500 席は広すぎるので 500 席程度がよい。「先駆的/実験的な試みを伴う創造活動」「若手アーティスト」を育てるには、300 席程度の客席が必要。
- ・第 3 のホールですが、舞台は広く、客席は 300 位でお願いしたいです。稼働域が増えます。先駆的な演目や舞台・客席を一体的になる演出ができます。
- ・大規模施設ではなく 150～200 席の小規模ホールと、それを使うアーティストへのソフト支援が必要である。
- ・邦楽人口の減少により 2000～1500 人規模のホールでの公演は難しいので、20～30 人、40～50 人規模の小さなスタジオ兼練習室兼楽屋兼公演会場となる施設を希望する。
- ・第三のホールが大きくなって、結局中・大の 3 ホールとなった。ちくさ小劇場：251、県小劇場：282 と小ホールの使い勝手は貴重であり、第 4 の小ホールが必要となる。
- ・2200 席・1500 席・900 席のホールは大きすぎます。スタジオ・練習室・会議室等の諸室を公演もできるようにして 30 席、50 席、100 席といった空間を用意してください。
- ・大規模のホールばかりではなく、市民が使いやすい小ホール規模の第 4 のホールを作るべきだと思う。
- ・練習室をもうけられないか。現在の練習館に加え拡充。
- ・1 階には、外部の人も利用可能なレストランを入れて欲しい。
- ・金山駅周辺に吹上ホールのような 4,000～5,000 名ほどが入場できる展示場施設を希望します。

「金山駅周辺まちづくり計画（案）」に寄せられた当計画（案）に関するご意見

- ・市民会館改築において、低層階での商業・公共施設の併設は必要だと思うが、（オフィスや住居等の）超高層にする必要は無いと考える。

【市の考え方】

（イ）施設構成

- ・ ホールの高利用率・高抽選倍率による発表・鑑賞機会の喪失という現状の課題解消のためには、利用ニーズをふまえ不足している 800～900 席規模のホールの新設が必要と整理しております。（基本構想、令和 4 年 2 月）
- ・ 新たに整備する第 3 ホールは多様なジャンルの演出への対応を想定しております。また、リハーサル・小規模な本番利用にも対応可能なスタジオなど諸室の運用方法やソフト施策については、いただいたご意見も踏まえながら、詳細については新たな劇場に関する要求水準書（案）の作成にむけ関係各所との調整、検討を進めてまいります。
- ・ 創造・活動拠点機能として練習室を整備する予定としております。（計画本編 P9、P23）
- ・ 共通ロビーや通りに面して、来館者がくつろぎ、交流することのできるカフェ等の飲食・物販スペースの設置を目指してまいります。（計画本編 P9、P24）
- ・ 古沢公園・市民会館エリアに整備する劇場には、オフィスや住居等の機能を導入する考えはありません。
- ・ 新たな劇場の整備は、開館から 50 年以上が経過した現市民会館が抱える諸課題を克服するとともに、全市的な文化振興を促進する、劇場機能の継承・発展などを前提とした建替事業ですので、ご理解くださいますようお願いいたします。

(2) 新たな劇場とまちづくりの関係について 20件

ア 金山駅周辺のまちづくりと新たな劇場の関係について

- ・回遊性・ウォーカブルな動線で劇場休館日も楽しめる駅からの動線としてほしい。
- ・樹木などにより日陰が生み出される（暑熱対策）
- ・駅から劇場が見通せて、劇場までの歩行時にワクワク感や期待感が醸成できる駅からの動線としてほしい。
- ・電動キックボード・自転車の立ち入り制限をしてほしい。
- ・緑・花・香りなど自然との共生、四季を意識できる空間の創出してほしい。
- ・視界が極端に妨げられないよう建物・樹木の高さ制限、芝生による緑化してほしい。
- ・勾配・アップダウンが極力少なく、高齢者や障がい者でも歩きたい、訪れたいと思える駅からの動線としてほしい。
- ・劇場と周辺との景観のマッチングをしてほしい。
- ・シンボル軸のイメージがわからない。行きたくなる場所か？
- ・新しい計画の中に、治安の安定を加味してほしい。金山駅が、治安の悪い場所にならないよう。そして、きれいな街を作って欲しい。
- ・雨に濡れずに劇場へ辿り着ける（もしくは雨でも楽しく歩ける）駅からの動線としてほしい。
- ・駅～劇場一帯の完全禁煙化をしてほしい。（喫煙所も不要）
- ・動物・ペットとの共存と、アレルギーに配慮したゾーニングをしてほしい。
- ・飲食店の裏側も清潔感を保つ設計、ゴミ対策をしてほしい。
- ・ハト、カラス対策をしてほしい。

【市の考え方】

ア 金山駅周辺のまちづくりと新たな劇場の関係について

※以下、「金山駅周辺まちづくり計画（案）」へのご意見として、同計画の所管となる住宅都市局における市の考え方を記載しています。

- ・歩行者動線については、駅から新たな劇場までの見通しを確保し、魅力的な景観形成を目指すとともに、既存の緑豊かな道路空間の継承や、公共空間に加え、沿道建物を含む地域全体のグランドレベルのにぎわい創出により、居心地が良く歩きたくなる空間の形成を図っていきます。
- ・金山駅周辺地域では、居心地が良く歩きたくなるまちなかの形成を目指すとともに、ウォーカブルなまちの形成を見据え、歩行者に配慮した適切な車両動線としていきたいと考えています。
- ・本市では快適な都市環境と自然が調和した都市を目指しており、金山駅周辺地域においても、まち全体の緑の量やその質の向上、ヒートアイランド対策等に資するグリーンインフラの取り組み等により、持続可能な未来に向けて環境付加が少ないまちづくりを行っていきます。
- ・再整備の実施にあたっては、ユニバーサルデザインの視点も必要であると考えているため、障害の有無、年齢等にかかわらず、多様な人々の利用に配慮した、誰もが使いやすい交通結節点としての機能を確保に向けて検討を進めていきます。
- ・景観については、新たな劇場と周辺のまちとの調和が必要であると考えており、文化芸術のまちなみが感じられる景観の形成を図っていきます。
- ・シンボル軸は、既存の緑豊かな道路空間を継承し、沿道の市有地や民有地と連携した居心地の良い歩行者空間を目指していきます。
- ・いただいたご意見については、検討を進める上での参考とさせていただきます。

イ 文化芸術を活かしたまちづくりについて

- ・市民が気軽に集うことができる、楽しめることができる場所、劇場だけに終わらない空間を。
- ・新市民会館が出来るだけではなく、町の特性を考え、つかみ、捉え、展開して、新市民会館だけではなく街が生き返るような計画が必要。
- ・駅からの動線や周辺でのアート作品・市民作品の展示をしてほしい。

「金山駅周辺まちづくり計画（案）」に寄せられた当計画（案）に関するご意見

- ・他の名古屋の主要地域と比較しても圧倒的にアートギャラリーが皆無である現状を感じます。ライブや自由に見られる空間の増設や町中にアート作品が展示してあったり何箇所も色々なジャンルのアート作品やまた舞台やパフォーマンスも見られるような街作りをするべきだと思います。
- ・市民会館の玄関の前に芝生とかがある構想を聞いたので、ストリートミュージシャンが演奏できるように管理もすれば、金山＝音楽のまちという意識付けもできると考えます。（ストリートミュージシャンには規制もいると思うので、委託管理が必要。）

【市の考え方】

イ 文化芸術を活かしたまちづくりについて

- ・金山駅周辺においては、広場等を活用した文化芸術活動など、3つのホールを核として、他の文化芸術施設や地域団体等と連携した面的な文化芸術施策を展開し、文化芸術の浸透を図ってまいります。（計画本編 P15）
- ・金山駅周辺においては、広場・オープンスペースを活用したコンサート等をまちなかで展開し、文化芸術の浸透とまちの魅力向上を図ってまいります。（計画本編 P15）

※以下、「金山駅周辺まちづくり計画（案）」へのご意見として、同計画の所管となる住宅都市局における市の考え方を記載しています。

- ・金山駅周辺においては、クリエイターやアーティストをはじめ創造的な活動を行う様々な人材が集い交流し、刺激し合う場の創出を図るとともに、広場等を活用した文化芸術活動など、新たな劇場の3つのホールを核として、他の文化芸術施設や地域団体等と連携した面的な文化芸術施策を展開し、文化芸術の浸透を図っていきます。

(3) 整備計画について 98件

ア 機能配置イメージについて

- ・金山駅正面から「新たな劇場」までは、曲線を含んだとしても、その道の正面にメイン劇場が南向きにシンボリックに建っている、という形にすべきではないだろうか。
- ・劇場を北に移動し(形はいびつになるが)、公園を南にすれば、公園、兼、前庭、兼、アプローチを演出する緑空間になるのではないかな。

「金山駅周辺まちづくり計画（案）」に寄せられた当計画（案）に関するご意見

- ・市民会館の玄関口は金山アスナル側の南側に建てた方が、みんなから見えることでより金山＝文化のまちの意識が生まれやすいと思います。
- ・金山駅正面から「新たな劇場」までは、その道の正面にメイン劇場がシンボリックに建っている、という形にすべきではないだろうか。劇場の正面はシンボル軸を向くと駅に対し横を向いていることになる。
- ・市民会館はシンボル軸側をメインエントランスとして、1階部は大津通と行き来できる自由通路を設けると良い。

【市の考え方】

ア 機能配置イメージについて

- ・古沢公園・市民会館エリアに整備する劇場は、金山駅周辺まちづくり計画と連携して駅からの見通しを確保するとともに、国内外から金山を訪れる多くの人を劇場へと導く金山駅前のランドマークとなる魅力的な外観を備えた建物としてまいります。(計画本編 P17、P26)
- ・新たな劇場の北側には、古沢公園を地域の公園としての機能を維持しつつ、開かれた劇場との一体感を持つ魅力的な公園として活用したいと考えております。新たな劇場の南側においても、オープンスペースの設置や廃道による一体的な空間創出を計画しております。(計画本編 P17、P26)

イ 施設の機能・規模等について

(ア) ホール機能を担う施設（舞台・楽屋等）

- ・レ・ミゼラブルのセットや動線確保に適うスペックのホールがほしいです。
- ・演劇がやりやすい劇場空間を作してほしい。
- ・多目的ではなく音楽専用のコンサートホールを作してほしい。
- ・近年のホールはクラシック音楽のオーケストラに配慮したものが多いが、その設計・施工費用は多額のものとなり、また興行的にも厳しい。使用・利用頻度の高いジャンルに絞って設計すべきと考える。
- ・第1ホールは音響を改善できるなら、オペラからオーケストラまで演奏できるホールが望ましい。
- ・第2ホールはピアノ独奏も含めて合唱コンサートなどに対応できる音響が確保されるとより観客増加につながる。
- ・各ホールはコンセプトを設定せず、現状を維持しつつ、規模と、規模に対応する付属設備に可能性に絞れば良いのではないか。
- ・近年は音楽と映像の組み合わせが行われることも増えているので、各ホールに高機能なプロジェクタの導入が望ましい。
- ・楽屋には、簡単な棚が欲しく、和室・洋室の両方を希望する。
- ・緞帳は無地を希望する。
- ・音響反射板（反響板）の格納位置は、舞台バトン等の可動に影響のない位置にしてほしい。（例：舞台袖上部）
- ・奈落は主舞台と同規模では、狭い舞台上で使用しない道具等の保管場所も兼ねるため全舞台面と同じ規模にしてほしい。
- ・この規模の劇場であれば、分割式（舞台前後）の大迫りを設置してほしい。なお、大迫りは、舞台面より下がることに加え舞台面よりも高くなる（1尺高～6尺高）機能を備えてほしい。
- ・オーケストラ迫を客席として使用している場合に、来場者が舞台前に集まっても下がらない安全機構を備えてほしい。取り外した客席を保管するスペースを確保してほしい。
- ・楽屋に防音アップルーム（鏡、レッスンバー、リノリウム床、天井高、ピアノ有、約30人を収容）を確保してほしい。
- ・楽屋通路は、3m程度（小道具、WLマイク、ケータリング等を置いても通行の邪魔にならない広さ）の広さを確保してほしい。
- ・ホワイエを通行せずにホワイエの主催者控室と楽屋に通じる通路を確保してほ

しい。

- ・第1ホールと第2ホール間で道具の移動ができる通路を確保してほしい。
- ・客席後方の調整室は副調整室とし、舞台近くで舞台を見渡しやすい配置してほしい。
- ・音響・照明調整室内にトイレを設置してほしい。
- ・第3ホールはプロセニウム形式の劇場の機能を有するものとしてほしい。

「金山駅周辺まちづくり計画（案）」に寄せられた当計画（案）に関するご意見

- ・各地のライブ会場との連携を前提にしたネット回線の敷設も検討して欲しいです。

【市の考え方】

イ 施設の機能・規模等について

(ア) ホール機能を担う施設（舞台・楽屋等）

- ・新たな劇場の第1ホールは、国内外から集客する「名古屋の実演芸術の殿堂」にふさわしい空間として、現市民会館大ホールの機能を継承・発展させるホールを整備します。また、第2ホールも、現市民会館中ホールの機能を継承・発展させ演劇など多様な公演需要に対応するとともに話題性が高く魅力のある各種興行公演の場として、市民や興行主から選ばれる「観る・魅せるホール」を整備します。（計画本編 P19、P20）
- ・現市民会館は大・中ホールとも高い利用率により文化芸術団体の発表機会、市民の鑑賞機会の喪失が課題であることから、多目的ホールとしての機能継承が必要であり、音楽専用のコンサートホールの新設は困難です。
- ・新たな劇場の第1ホールは多目的ホールですが、現市民会館の音性能の評価の低さの課題を解消し、クラシック等の生音をはじめ、ポップスやロックといった軽音楽等の幅広い音楽公演や各種興行公演に対応し、現市民会館大ホールの機能を継承・発展させるホールを整備します。特に、コンサート専用ホールと遜色ない音響性能を備えることで、国内外のトップレベルのアーティストから選ばれるホールを目指しています。（計画本編 P19）
- ・第2ホールは生音と拡声の両方の鑑賞に対応できる音響空間とします。また、多様な音楽公演に対応できるよう可動式の音響反射板を設置します。（計画本編 P21）
- ・各ホールの計画においては、テレビ中継やインターネット配信にも配慮（計画本編 P20、P22、P23）するほか、ストリーミング配信など映像や通信技術の積極的な活用を図ってまいります。（計画本編 P25）
- ・各ホールは客席数のみならず、主に利用する実演芸術にも違いがあると考えます。多目的ホールという役割は継承したうえで、各ホールのコンセプトを明確にすることによって、より利用を想定する実演芸術に適した舞台サイズや舞台機構、舞台設備などが整ったアーティストにも市民にも利用しやすいホールになると考えます。
- ・いただいたご意見も踏まえながら、詳細については今後要求水準書（案）の作成にむけ関係各所との調整、検討を進めてまいります。

(イ) ホール機能を担う施設（客席・ホワイエ・その他）

- ・ゆったりした座り心地のよい座席を作してほしい。（２件）
- ・客席が、千鳥（ジグザグ）に配置されること希望する。（２件）
- ・前の席に背の高い方が来ても視界が遮られないような段差のある客席構造にしたい。
- ・未就学児も鑑賞できるよう、座席からの視線や高さを考慮してほしい。
- ・ストレッチャー等、横になった状態（車いすスペースの拡大）で鑑賞できるスペースを備えてほしい。
- ・車いすスペースは前の観客が立っても観覧できる高さを確保する配置を備えてほしい。
- ・最新の設計且つ数の多いトイレを作してほしい。
- ・女性用トイレは多めに、しかもパンフレットなどを置ける棚があり、使用中か否かも、入り口付近で分かるように希望する。
- ・女性用トイレを増やし、個室が使用中か否か入口からわかるようにし、入口～出口のルートを確認していただけると、出入りがスムーズになると思う。大ホールには各階にトイレがあると好ましい。
- ・観客のマナー向上を徹底してほしい。
- ・客席内監視要員等の客席内常設スペース（扉付近壁側）を備えてほしい。
- ・トイレについては催物により、観客の性別に偏りが発生するので、利用状況により男女別の個数を変更できる仕様としてほしい。
- ・900 名程度の可動客席については、観客の移動時の雑音と揺れが発生しないものを採用してほしい。
- ・管理運営において可動客席は保守メンテナンスや故障などに経費が掛かるのに対し、固定席の方が軽減され则认为る。
- ・楽屋や客席など細部については、大まかな建築プランが決まってから、各箇所を使用する人たちからの意見や要望を聞く機会をぜひとも設けていただきたいと思います。

「金山駅周辺まちづくり計画（案）」に寄せられた当計画（案）に関するご意見

- ・座席配置を子供が前列に大人が座っても見やすいよう千鳥配置(ジグザグ配置)にするべきです。客席からの見え方を評価するソフトウェアを活用するなどの事前対策も講じて欲しいです。

【市の考え方】

(イ) ホール機能を担う施設（客席・ホワイエ・その他）

- ・各ホールの客席については、舞台が見やすい座席配置、ゆとりある座席幅・前後奥行となるよう整備してまいります。また、車いす利用者の鑑賞席の位置など、利用者特性に応じた多様なニーズに対応します。（計画本編 P20、P21、P22、P25）
- ・ホワイエのトイレ（バリアフリースイールを含む）は利用時間の集中を考慮して整備してまいります。（計画本編 P20、P21、P22）
- ・いただいたご意見も踏まえながら、詳細については今後要求水準書（案）の作成にむけ関係各所との調整、検討を進めてまいります。

(ウ) 創造・活動拠点機能、交流機能を担う施設

- ・リハーサル室は、バレエマットが常時敷かれていて、広くて滑らない床を希望する。
- ・リハーサル室は、床にバレエ用のマットが引いてあることを希望します。
- ・スタジオは本番同様の稽古ができるよう、舞台面より広くし、天井の高さを確保してほしい。
- ・情報スペースのあり方がみえない。
- ・イベントのチラシ配布の場所を多くしてほしい
- ・現アスナルにある小舞台風の発展として、使い勝手の良い、状況によっては無料でみんなが使うことができる舞台（スペース）がほしい。
- ・雨天でも開催可能な半屋外、生音、楽器などへの配慮したストリートパフォーマンススペースを設けてほしい。
- ・おいしいレストラン・カフェの導入が必要である。
- ・西文化小劇場のせんべいのように、お菓子の名産を置いてお土産を買って帰れるようにしてほしい。
- ・創造活動の拠点となるよう大型楽器などは施設に保管できるか貸出できると活発な創造活動につながる。そのため特定の文化活動団体のための倉庫や打合せスペース、作業場などをしっかり確保してほしい。
- ・音楽でいえば、オーケストラの編成にある弦楽器、管楽器、打楽器等の市民が体験するための文化芸術関連備品などを開館時から取りそろえておくことが大事だと思う。
- ・会議室は多種類の収容人数の部屋を多めに希望する。
- ・「交流機能を担う施設」は意図と意思を明確にして人々が集まる工夫がないと単なる通行人に終わり、看板倒れになるのではないかと。

「金山駅周辺まちづくり計画（案）」に寄せられた当計画（案）に関するご意見

- ・音楽プラザと連携し、多くの市民団体が利用できるミニホール(練習場)等の増設も希望。

【市の考え方】

(ウ) 創造・活動拠点機能、交流機能を担う施設

- ・ホール機能以外にも、創造・活動拠点機能、交流機能として、本番利用にも対応可能なスタジオや、練習室等の諸室も整備してまいります。(計画本編 P9、P23)
- ・大スタジオは第1ホールの舞台と同程度で、立稽古可能な広さとします。(計画本編 P23)
- ・現在は市内の各文化施設がそれぞれ発信している公演や文化芸術に関する情報を、新たな劇場の誰でも気軽に訪れることができる共通ロビーに面した情報スペースで一元的に集約・発信することにより、市民が文化芸術に触れる機会を創出したいと考えております。(計画本編 P9、P24)
- ・共通ロビーに面してイベントスペースを設けるほか、敷地内に誰でも気軽に利用でき、文化芸術活動の場としても利用できるオープンスペースを配置します。(計画本編 P24、P26)
- ・共通ロビーや通りに面して、市民の来館を促すショップ等や来館者がくつろぎ、交流することのできるカフェ等の飲食・物販スペースの設置を目指してまいります。(計画本編 P9、P24)
- ・現時点で特定の団体による専用利用は考えておりません。
- ・いただいたご意見も踏まえながら、詳細については新たな劇場に関する要求水準書(案)の作成にむけ関係各所との調整、検討を進めてまいります。

(エ) 付帯施設

- ・現在の市民会館の利便性を継承するのであれば、EV の設置でなく、舞台面と搬出入口面は同一面にしてほしい。
- ・搬出入トレーラーの待機場所を十分に確保されたい。現況では廃道予定の市道で頻繁に待機している。
- ・練習室とホールの倉庫は共通に使用できる方が合理的に管理できると考える。
- ・舞台・照明・音響の機材倉庫を舞台周辺に設置してほしい。
- ・搬入口にプラットホームは設置しないでほしい。
- ・事務室から舞台搬入口へ来館者（観客等）とバッティングせずに、直接移動ができる通路を確保してほしい。
- ・舞台道具等を作成、修繕を行う作業場と工具を備えてほしい。
- ・車寄せの設置、車寄せから雨に濡れずに入館できるようにしてほしい。

【市の考え方】

(エ) 付帯施設

- ・新たな劇場の基本方針 1 では、まちと繋がる「開かれた劇場」を掲げています。まちに開かれた劇場としつつ、搬出入の利便性を継承するため、舞台等への搬出入には大型 EV を設置いたします。（計画本編 P20、P21）
- ・ウインググループタイプ 11t トラックでの複数台の搬出入に対応するスペースを敷地内に確保いたします。（計画本編 P20、P21）
- ・いただいたご意見も踏まえながら、詳細については新たな劇場に関する要求水準書（案）の作成にむけ関係各所との調整、検討を進めてまいります。

(オ) その他の事項

- ・車いすでの来館者が客席から舞台へ直接上がれるルートあるいは迫りを備えてほしい。
- ・各ホールに障がい者や高齢者の自主的な行動を支援するアクセシビリティを担保すること。
- ・多機能トイレ（オストメイト、LGBTQ）対応のトイレを設置してほしい。
- ・自由に入れる空間とはどんな人でも受け入れるのか。「インクルーシブな施設整備」「全ての人を受け入れられ参加できる、誰一人排除しない（されない）劇場を目指します」と記されているがこれは従来と何が違うのか。
- ・バリアフリー化をしてほしい。（3件）
- ・子ども・子連れから高齢者まで多世代、外国籍の方などへの配慮してほしい。
- ・障がいのある来場者への配慮や、雇用・協同についても設計時から考慮してほしい。
- ・盲導犬のトイレを設置してほしい。
- ・劇場周辺やロビー限定で、Bluetooth などにより演目を鑑賞できるようにしてほしい。
- ・トイレに行かずとも手を洗える場所が数か所あると良い。
- ・自販機は不要。
- ・必要最低限の標識設置としてほしい。（10年後はデジタルで補完できる）
- ・LED ライトに頼りすぎず、目に優しい適度な明るさとしてほしい。

【市の考え方】

(オ) その他の事項

- ・現市民会館は劇場とまちとのつながりや関係が希薄であり、鑑賞目的のない人は立ち寄らない施設となっています。新たな劇場では、まちに開かれた劇場とすることで、鑑賞目的のない人でも気軽に訪れることができる施設を目指しています。
- ・また、現市民会館はバリアフリー化されておらず、高齢者や障害者などの利用に物理的制約のある施設であるのに対し、新たな劇場は高齢者、障害者、子どもなども含む誰もが安全に支障なく施設を利用できるよう、施設整備・運営の両面でユニバーサルデザインへの配慮を十分に行います。（計画本編 P25）
- ・いただいたご意見も踏まえながら、詳細については新たな劇場に関する要求水準書（案）の作成にむけ関係各所との調整、検討を進めてまいります。

ウ 諸機能配置計画について

- ・外観はデザインを凝っていただきたい。
- ・古沢公園をそのまま残してほしい。(2件)
- ・パース図において、古沢公園の樹木が極端に減っている。剪定程度にとどめてもらいたい。

「金山駅周辺まちづくり計画(案)」に寄せられた当計画(案)に関するご意見

- ・古沢公園をそのまま残してほしい。
- ・公園は昼は良いが夜は治安の問題があるため、明るさの確保が必要です。例えば、愛知県のトヨタ研究所が人工光合成の研究も進めているため、照明も兼ねて実証実験設備を公園に設置することで温室効果ガスの削減への貢献もアピールできると思います。
- ・古沢公園は大人が憩うための公園ではなく、子どもたちがちゃんと遊べる空間として残していただきたいです。ドッジボールや鬼ごっこがちゃんとできる公園、大きな砂場で泥だらけで遊べる公園にしてください。欲を言えば、古沢公園のシンボルともいえる、あのお山を残していただけると嬉しいです。
- ・市民会館との境の道がなくなるのはよいのですが、子どもたちが遊ぶ様子が市民会館から見下ろせるようだと、盗撮などが心配です。市民会館の設計に配慮していただきたいと思います。
- ・古沢公園は金山北地区における重要な緑地帯であるので、樹木の保全につとめ改変はやめてほしい。この公園は市民会館・アスナル等の工事期間においてもオープンにしておくべき場所と考える。
- ・深夜、古沢公園に若者が来て騒がしくて寝れないときがあります。今後、そういうことが無いようにしていただきたいです。
- ・のびのびと身体を動かせる公園が無くなるのは反対です。球技ができるような公園、広場がほしい。現在ある遊具を撤去するのであればその分補填してもらいインクルーシブな公園を作してほしい。
- ・新しい計画では古沢公園は地域に開かれた空間になるとのことですが、近隣の親子連れ、保育園、放課後児童クラブ、小学生たちの遊ぶ環境は維持されるのでしょうか？
- ・公園に誰でも入ってこられる環境は、子どもたちを狙った犯罪目的の人物を招き入れてしまうのではないかと危惧もあります。開放的な空間づくりに潜む危険にもどうかご配慮いただけますと幸いです。

- ・ ヒートアイランド対策として、施設の塗装を遮熱塗装にすることで公園の遊具の温度を下げて夏も使えるようにする、地域の気温低下にもなると思います。

【市の考え方】

ウ 諸機能配置計画について

- ・ 国内外から金山に訪れる多くの人を劇場へと導く金山駅前のランドマークとなる魅力的な外観を備えた建物としてまいります。（計画本編 P26）
- ・ 古沢公園については、地域の公園としての機能を維持しつつ、新たな劇場との一体感を持つ魅力的な公園となるよう活用していきたいと考えております。（計画本編 P26）
- ・ 環境面の対応として、環境負荷低減を考慮した施設として、建物の省エネルギー化や再生可能エネルギーの導入を積極的に検討してまいります。（計画本編 P25）
- ・ 公園・オープンスペースにおいては、生物多様性緑化に取り組むなど、グリーンインフラの実装に努めます。（計画本編 P25）
- ・ 掲出のパースは、空間のつながりや活動のイメージを表現したものであり、設計図に基づく完成予想図ではありません。
- ・ いただいたご意見も踏まえながら、詳細については今後要求水準書（案）の作成にむけ関係各所との調整、検討を進めてまいります。

エ その他

- ・兵庫県西宮市の「兵庫県立芸術文化センター」が、駅直結で、案内がわかりやすく、シンプルで機能的（でも殺風景でなく）、ロビー等の空間も広く、観客の動線もスムーズで、その上観やすいので「こんな劇場がほしいなあ」と思わせてくれた。それに負けない素敵な劇場を期待する。
- ・現在、市民会館へは金山駅から地下道を通り、雨の日でも濡れずに行くことが出来るが、新しい市民会館となっても雨等対策を考慮いただきたい。

【市の考え方】

エ その他

- ・いただいたご意見も踏まえながら、詳細については今後要求水準書（案）の作成にむけ関係各所との調整、検討を進めてまいります。

(4) 管理運営計画について 26件

ア 事業計画について

(ア) 貸館事業

- ・貸館中心の運営ではなく、貸室ではないアートスクールのような取り組みが必要である。
- ・「文化芸術の創造活動拠点として、名古屋ならではの文化芸術を発信」「サポート体制」「文化芸術活動の活性化」の部分が基本構想から後退している。貸館中心ではなくそこを拠点とする芸術団体が舞台を音楽を、そこでオリジナルを創る、ということが重要である。
- ・舞台委託業者等との詳細な契約により文化芸術団体等へのサポート内容が確実に担保されるようにしてほしい。
- ・学生、アマチュア団体等の市民が劇場を利用しようとした場合には、施設職員が積極的な技術サポートを行うことで、舞台操作における市民の費用負担の軽減を図ってほしい。
- ・地元の若手アーティストを応援するような体制としてほしい。
- ・戦略的貸館事業により市民の自主的な活動が制約、選別されるのではないかと危惧する。

「金山駅周辺まちづくり計画（案）」に寄せられた当計画（案）に関するご意見

- ・様々な人が利用しやすいよう使用料も従来のように低価格で検討してほしい。

【市の考え方】

ア 貸館事業について

(ア) 貸館事業

- ・ホールの高利用率・高抽選倍率による発表・鑑賞機会の喪失という現状の課題解消のためには、貸館事業によりホール需要を満たす事が必要だと考えています。貸館事業とのバランスを図りつつ、ホールや諸室、施設全体あるいは金山のまちと連携した自主事業を実施することを想定しております。（計画本編 P29）
- ・貸館事業の基本的な考え方として、「地域文化芸術団体等への積極的なサポート」を方針の一つとしております。（計画本編 P30）
- ・利用料金の設定については、今後の検討事項としております。（計画本編 P30）
- ・いただいたご意見も踏まえながら、詳細については新たな劇場に関する要求水準書（案）の作成にむけ関係各所との調整、検討を進めてまいります。

(イ) 自主事業

- ・文化行政の担い手が行うべきは「創造活動」「普及・育成」「交流・まちづくり」を優先すべきです。鑑賞事業の優先順位は一番下に下げて良いと思います。
- ・国際交流に関する事業が必要である。
- ・名古屋市姉妹都市（ロサンゼルス市、メキシコ市、南京市、シドニー市、トリノ市、ランス市、台中市、タシケント市の計 8 都市）との連携など出来るような仕組みも配慮いただきたい。
- ・未就学児の鑑賞が可能な演目を充実してほしい。
- ・地域のアーティストの定着や地域のアーティストが外部へ出て地域へ還元するなど、地域に文化創造の資金が還元できる政策が必要である。
- ・舞踊芸術を育てるには公的な支援金が必要。
- ・自主事業、戦略的貸館事業に新しい市民会館で何がしたいのかという骨太な方針が盛り込まれることを期待します。
- ・3つの「開く」やにぎわいそのものよりも、まずはホールが稼働すること、文化芸術が早期に動くことが必要である。
- ・自主事業は最終的には予算の問題に行き着くものであり、市政の中の大きな柱として文化事業への強力な支援施策のもとに位置づけられるべきである。
- ・駅周辺や公園にモニターを設置し、演目を無音で中継 or 過去作品放映（権利に抵触しない形）し、劇場へ足を運ぶきっかけを作してほしい。

【市の考え方】

（イ）自主事業について

- ・新たな劇場のミッションである「文化芸術の裾野拡大」を果たすためには、新たな劇場が持つホール機能を活かしてより多くの人々の興味が誘発される公演等を行う「鑑賞事業」も含めて、いずれの分類の事業も重要であると考えています。（計画本編 P31）
- ・基本方針 2 として海外からトップクラスの公演が招致可能な劇場とするとともに、国内外のアーティストの上質な演奏の提供も自主事業の一例として想定しております。（計画本編 P3、P33）
- ・自主事業の基本的な考え方の中で、鑑賞事業として「バラエティーに富んだ演目で、より多くの人々の興味が誘発される公演」の実施や、普及・育成事業として「子どもからシニアまで、老若男女を対象とした新たな体験・挑戦の場」の提供などを想定しております。（計画本編 P32）
- ・自主事業の考え方の中で、創造活動事業として、新進アーティスト等と連携した先端芸術表現の場の提供や、普及・育成事業として、次世代の実演家の育成を行う事業を想定しております。（計画本編 P32）
- ・いただいたご意見も踏まえながら、詳細については新たな劇場に関する要求水準書（案）の作成にむけ関係各所との調整、検討を進めてまいります。

イ 管理運営主体及び専門家配置・役割について

- ・各エリアの事業展開は早期に準備に入るための適正人員を段階的に増やす必要があり、また、中長期に渡って展開できるよう、財務状況や景気変動などに影響されない措置を講じるようにしてほしい。
- ・文化芸術の世界は旧来の上意下達の世界ではないが、専門家という響きの中には上から下へと思われるような一方的な指導あるいは指示というニュアンスが感じられ、妙な縦構造を生み出しかねない。
- ・指定管理者制度は基本的には経営の合理化に主眼があるものと認識しており直営がふさわしいと考えている。
- ・運営組織は、名古屋市文化振興事業団を軸とした構成の方がスムーズではないかと思う。
- ・自主事業を含めて民間の運営事業者が行うパターン①を軸に検討を進めるとされているが、直営の部分を残すべき。
- ・PFI（BT0）方式を基本として書かれていますが、名古屋市文化振興事業団が市民会館に関わらないという選択肢もあるのでしょうか。

【市の考え方】

イ 管理運営主体及び専門家配置・役割について

- ・指定管理者制度は、経費節減等だけではなく、「多様化する住民ニーズにより効果的、効率的に対応するため、公の施設の管理に民間の能力を活用しつつ、住民サービスの向上を図る」ことがその創設趣旨とされております。
- ・行政にはない民間事業者のノウハウを最大限に活用しつつ、舞台技術や貸館事業、自主事業を一体的に連携して実施するためには、できるかぎり同一主体のもとで一元的な運営を行うことが望ましいと考えています。（計画本編 P40）
- ・運営事業者と、名古屋市文化振興事業団をはじめとする本市の関係団体の関わり方については、いただいたご意見も踏まえながら、詳細については新たな劇場に関する要求水準書（案）の作成にむけ関係各所との調整、検討を進めてまいります。
- ・いただいたご意見を踏まえ、全てを民間の運営事業者が運営するパターンだけでなく一部を直営または公益法人等へ委託するパターンも検討に含めることとして基本計画に追記いたしました。

ウ 施設の維持管理、事業の評価、その他について

- ・PFI(BT0) が基本に据えられているが、利用料が著しく高騰したり、児童・学生や市民の発表機会が減ったり、舞台管理業務が手薄になり事故の危険性が増えたりなどの可能性がある。
- ・陳腐化を防ぐため、機器によっては、リース契約等での設置の検討も視野に入れてほしい。
- ・市民に体験をしてもらい、その先の活動機会をつくるために、芸術大学や芸術団体などとの連携を考慮することが必要だと思います。

【市の考え方】

ウ 施設の維持管理、事業の評価、その他について

- ・新たな劇場の基本理念を達成するためには、事業評価等による施設の運営状況の確認・改善や、事業方針の検討・見直しを定期的に行う必要があると考えております。(計画本編 P45)
- ・いただいたご意見も踏まえながら、詳細については新たな劇場に関する要求水準書(案)の作成にむけ関係各所との調整、検討を進めてまいります。

(5) 事業方式について 35件

ア 官民連携に向けた基本的な考え方について

- ・ どの事業者が管理運営するにしても、名古屋市内の他の文化施設とは必ず協力・連携して名古屋市の文化育成に努めていただけるようにしてほしいと思います。また、クリエイティブ・リンク・ナゴヤが強力な指導力を持って関与するなど、事業者のノウハウに頼りすぎないで名古屋独自の文化創造に寄与する施設になるよう誘導してほしい。
- ・ 名古屋市文化振興事業団や、クリエイティブ・リンク・ナゴヤとはどのような協力体制を築いていくのか。
- ・ 事業者選定後に発生する問題点の責務主体はどこになるのか疑問です。

【市の考え方】

ア 官民連携に向けた基本的な考え方について

- ・ 公共施設等の整備などに関し民間活力を活用していくことは重要であり、本市においても、民間でできることを民間に委ねることを基本として、民間活力の積極的な導入を推進しています。(計画本編 P46)
- ・ 発生した問題に応じて、発注者である名古屋市、もしくは受注者である民間事業者、それぞれが責務主体になりうると考えております。
- ・ 運営事業者と、クリエイティブ・リンク・ナゴヤや名古屋市文化振興事業団をはじめとする本市の関係団体の関わり方については、いただいたご意見も踏まえながら、詳細については新たな劇場に関する要求水準書(案)の作成にむけ関係各所との調整、検討を進めてまいります。

イ 整備手法について

- ・PFI（BT0）方式を想定しているが、DB+0方式（指定管理）のVFMの方が0.7ポイント高いのに、PFIの総合評価が高いとされているが、総合評価の中身について丁寧に説明をしてほしい。「SPCに事業マネジメントをさせると効果的・安定的な事業推進が可能である」とする理由を具体的に説明してほしい。
- ・PFIで事業者を選んだ場合、この規模の工事に対応可能な事業会社、特に施工会社の数が限られるため、整備手法の再考を願います。
- ・将来の名古屋の文化的名所であり、観光名所にもなるかもしれない、ということに重きを置けば、従来方式が◎になると考えます。
- ・名古屋市の舞台芸術文化行政を体現する第1第2ホールについては、従来方式で着実に市がコントロールして公園と一体になった設計を行い、適切な価格の施工者を選ぶ方が合っているのではないのでしょうか。
- ・従来方式の評価欄に、財政負担の平準化が困難とありますが、PFI（BT0）方式であれば建物引き渡し時に施設整備費を市から支払うことになりませんか。本事業のケースで、事業年度期間の支払いを比較したら、実は、それほど、財政負担の平準化の効果は大きくないのではないのでしょうか。
- ・建設業者の入札の時点で、関連団体との懇談会を設定して、懇談会には建設業者の営業ではなく、実際に計画をして設計をする担当者が参加することの条件を付加してほしい。一握りの有識者で作る委員会では齟齬があるので、もっと芸術文化の現場の人の意見をくみ上げ取り入れてほしい。

【市の考え方】

イ 整備手法について

- ・利用者にも来場者にも使いやすい劇場とするためには、デザイン性に偏重せず、建設・維持管理・運営面まで考慮した設計を担保する必要があり、また運営面・資金面における民間ノウハウの活用による事業推進などを考慮したうえで、PFI（BT0）方式が総合的に望ましいと考えています。（計画本編 P47）
- ・PFI 事業では、設計、建設に必要な資金の一部を SPC が金融機関等から“プロジェクトファイナンス”という借入方法で調達するのが一般的です。これにより、地方公共団体は建設時期に一度に資金を支出する必要がなくなり、提供されるサービスの対価として SPC に分割で資金を支払い、SPC はその収入をもって金融機関に借入金を返済します。財政負担の平準化が PFI 手法導入の効果の一つであることが内閣府により示されております。
- ・いただいたご意見も踏まえながら、詳細については新たな劇場に関する要求水準書（案）の作成にむけ関係各所との調整、検討を進めてまいります。

ウ 概算事業費・想定スケジュールについて

(ア) 概算事業費

- ・東京の中野サンプラザ跡地について、人件費や物価の高騰を理由に工事の延期が報じられている。新たな劇場にも類似のリスクが予想されますが、これについて名古屋市のお考えをお聞かせ願いたい。
- ・事業費約 580 億円はハードの整備費だと思われそうですが、その中から地元の文化芸術創造活動支援にまわすことで、地元の文化を育てるようにはどうですか。例えば、ハード整備は 500 億円のできる範囲にしておき、残りの 80 億円を毎年 1 億円の創造活動支援金にすれば 80 年間支援できます。
- ・概算事業費約 580 億円の一部を自主事業の財源に充ててほしい。

【市の考え方】

ウ 概算事業費・想定スケジュールについて

(ア) 概算事業費

- ・概算事業費は令和 6 年 5 月時点の建設物価に基づく試算額であり、今後、今以上に工事費単価が高騰することも想定される中、詳細な事業費については、本計画に示す機能や品質の確保を図りつつ、事業者公募前の段階において再度検討を行う必要があると考えております。(計画本編 P48)
- ・概算事業費は、古沢公園・市民会館エリアに関する、既存建物の解体及び新たな劇場の新築に最低限必要となる金額を記載したものであり、施設の維持管理・運営費や道路等の周辺インフラ整備費は含まない金額となっております。(計画本編 P48)
- ・自主事業費を含む施設の維持管理・運営費については、いただいたご意見も踏まえながら、詳細については新たな劇場に関する要求水準書(案)の作成にむけ関係各所との調整、検討を進めてまいります。

(イ) 想定スケジュール

- ・ 7年間の劇場がなくなる対応策を十分検討してください。(8件)
- ・ 3つのホールの整備を一斉に開館と言うことではなく、時間差で作るなどとしてほしい。
- ・ 第3ホールを建ててから、第1・第2ホールを造るようにしてほしいです。
- ・ アスナルの会館を先行オープンして、それから今の市民会館を壊して欲しい。
- ・ 設計期間中(1,2年?)は継続して開館させておくべきではないか。アスナル金山側で計画されている第3ホールと施工時期を大きくずらし、少しでも金山地区で公演・興行を拾えるように考えてほしい。
- ・ 中ホールを先に作るよう要望します。
- ・ まずは古沢公園に先行して施設を建設し先に稼働できないでしょうか。また、周辺市町の文化施設との提携方法も検討してはどうでしょうか。
- ・ 現在の劇場を残して隣接地に新劇場を作ってから、現在の劇場の解体を始めるなど、金山駅の周辺に劇場が存在しない期間を生じさせない方法で、改築を進めるべきです。
- ・ 新しい市民会館が完成して使用できるようになるまで古い会館を取り壊すことなく、利用出来るように工夫していただきたくお願いいたします。
- ・ 一度に整備せず、順に建設・オープンをしてほしいです。同時に建築がどうしても必要であるならば、港区の民間ホール完成後に現市民会館を取り壊し・建築としてほしいです。民間施設の利用料はかなり高額になると思いますので、市民会館再オープンまでの間は名古屋市による助成を行ってほしいです。
- ・ 旧ボストン美術館跡などを利用することも含め、仮設の劇場案が付されるべきである。
- ・ 時期をずらして新設と改築を行なってください。それが無理なら、仮設演劇場を建設の上、解体に踏み切ってください。
- ・ 代替え劇場をご配慮いただきたい。
- ・ 現市民会館が長期にわたり無くなってしまうことによる、舞台芸術の衰退への対策や、劇場が職場となっている実演家や舞台技術者に対する考えや方針も新たな劇場を作るための大切な計画の1つではないか。
- ・ 工事期間中に文化活動が停滞しないよう、活動の場をつくり、市民が文化に触れ合う機会が持続的に享受されるような方策を具体的に基本計画の中に示していただきたい。
- ・ 建替工事の間、劇場が使えなくなるのは演劇を楽しみにしている身としてはつ

らい。

【市の考え方】

(イ) 想定スケジュール

- ・解体・建設により約7年間にわたって市民会館が使用できなくなるのは、大きな課題であると認識しております。一方、新たな劇場の整備に係る事業費も大規模であるため、閉館期間中のための代替施設を整備することも、費用や場所の問題などから、現実的に難しい状況です。
- ・また古沢公園については、地域による公園利用の状況や意向を踏まえ、同位置で機能維持することとしており、劇場の建設用地として活用することは想定しておりません。
- ・閉館期間中については、今後の当地域の文化芸術の機運を絶やさぬよう、官民のホールの整備状況なども勘案しながらできる限りの対応を検討してまいります。
- ・いただいたご意見を踏まえ、検討課題として基本計画に追記いたしました。

(6) その他 10件

- ・ 本当に劇場がいるのか？
- ・ もっと具体的にもっと身近に感じる計画が必要。
- ・ 行政は関連団体からアンケートを取ったのなら、それをどこに活かすのか、何に役立てるかをフィードバックしなければいけないと思う。
- ・ 新規に公共施設が建設される場合、ヒアリング調査が行われることが多いが、意見が反映された試しがない。
- ・ 10年後の社会やテクノロジーを想定して構想いただきたい。
- ・ 今、最新のアイデアが採用されたとしても、開館時には既に10年遅れになってしまうため、常に新しいアイデアを採用できる仕組み・体制を構築して基本計画案を改善し続けていただきたいと思います。
- ・ 愛知県と名古屋市がきちんと協同して進めていただきたい。
- ・ 市民の意見を真剣に聞き、よりよい劇場を深く追求してってください。

「金山駅周辺まちづくり計画（案）」に寄せられた当計画（案）に関するご意見

- ・ 金山駅とその周辺は現状維持でよいと思う。市民会館も建て替えせず、公会堂のように既存の建物を末永く使ってほしい。
- ・ 多くの市民、特に住民は本当にこれほどの再開発を望んでいるのであろうか。アスナルは十二分に集客しており、市民会館も運営・興行は充実しているように感じている。施設老朽化部分や周辺歩道部の修繕や、不足機能の追加(市民会館連絡路のエスカレーター等)で皆満足するのではないか。

【市の考え方】

(6) その他

- ・ 現市民会館は老朽化が深刻であり、施設の構造的にもバリアフリー等多様化する利用者のニーズに応えられていないなどの課題を抱えています。これらの諸課題を改修によって解消することは困難であるため、現市民会館の改修ではなく新たな劇場の整備が必要となります。
- ・ いただいたご意見も踏まえながら、詳細については新たな劇場に関する要求水準書（案）の作成にむけ関係各所との調整、検討を進めてまいります。

名古屋市観光文化交流局文化芸術推進課
電 話 052-972-3181
F A X 052-972-4128